



Nexus ダッシュボードへの既存のクラスタの移行

- [Nexus ダッシュボードへの既存のクラスタの移行 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [既存のクラスタ設定のバックアップ \(3 ページ\)](#)
- [新しいクラスタを展開して構成を復元する \(5 ページ\)](#)

Nexus ダッシュボードへの既存のクラスタの移行

リリース 3.2 (1) 以降、マルチサイト オーケストレータは Cisco Nexus ダッシュボードのアプリケーションとして展開する必要があります。以前サポートされていた VMware ESX 仮想アプリケーションおよび Cisco Application Services Engine フォームファクタのサポートは廃止されました。

次のサブセクションでは、VMware ESX VM または Cisco アプリケーション サービス エンジンに導入されている既存の Cisco マルチサイト オーケストレータを Cisco Nexus ダッシュボードに移行する方法について説明します。

すでに Cisco Nexus ダッシュボードで MSO クラスタを展開している場合は、代わりに [概要](#)に記載されている手順に従ってください。

前提条件とガイドライン

新しいプラットフォームは、クラスタリングとインフラストラクチャ、サイト管理、およびユーザー管理の実装方法が大きく異なるため、移行プロセスでは、新しい Nexus ダッシュボードプラットフォームを並行展開することと、既存の Multi-Site Orchestrator (MSO) クラスタから現在の設定データベースを手動で転送することが必要になります。

既存のクラスタを Nexus ダッシュボードに移行する前には、次の作業を実行します。

- 最初に、[Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide](#) およびこのドキュメントの[マルチサイトオーケストレータを展開](#)章で説明されている、Nexus Dashboard プラットフォームおよび全体的な導入の概要とガイドラインを理解しておいてください。

- 現在の MSO クラスタが正常であることを確認します。

構成のバックアップを作成する時に使用します。そして、Nexus Dashboard 内の新しく展開した MSO アプリケーション内にインポートします。

- ファブリックが Cisco APIC リリース 4.2 (4) 以降にアップグレードされていることを確認してください。

サイト管理は、MSO UI から、リリース 4.2 (6) 以降をサポートする Nexus ダッシュボード共通サイト管理に移動しました。ファブリックのアップグレードの詳細については、[Cisco APIC Installation, Upgrade, and Downgrade Guide](#) を参照してください。

- [Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド](#)の説明に従って、新しい Nexus ダッシュボードクラスタを導入し、ファブリック接続を設定します。

Nexus Dashboard へのアップグレードを計画している MSO アプリケーションを含む既存のアプリケーション サービス エンジン クラスタがある場合は、最初に、そこで実行されている MSO アプリケーションを無効にしてアンインストールする必要があります。次に、[Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド](#)の説明に従って、クラスタを Nexus ダッシュボードにアップグレードできます。

- [マルチサイト オーケストレータを展開](#)の説明に従って、Nexus ダッシュボードに MSO アプリケーションをインストールします。

同じ Nexus ダッシュボード クラスタで複数のアプリケーションを共同ホストすることを計画している場合は、クラスタ サイズがファブリック サイズとアプリケーション数に基づいて適切にスケールアップされていることを確認する必要があります。[Cisco Nexus ダッシュボードキャパシティプランニング](#) ツールは、特定のユースケースに必要なクラスタサイズを提供できます。MSO アプリケーションの付属をサポートするためにクラスタを拡張する必要がある場合は、追加のワーカーノードの展開について、[Cisco Nexus ダッシュボードユーザーガイド](#)を参照してください。

- MSO アプリケーションから管理したいすべてのサイトが Nexus ダッシュボードに組み込まれていることを確認してください。

サイト管理は、MSO UI から Nexus ダッシュボードの共通サイト管理に移動されました。したがって、[サイトの追加と削除](#)に説明されているように、既存の設定を新しいクラスタに移行する前に、同じサイトと Nexus ダッシュボードと同じ名前を使用して GUI にオンボードする必要があります。バックアップに存在するサイトが Nexus ダッシュボードに存在しない場合、復元は失敗し、[復元前チェックに失敗しました (Pre-restore check failed)] というエラーメッセージが表示されます。



(注) Nexus ダッシュボードにサイトを追加した後は、MSO アプリケーションでそれらを [管理対象 (Managed)] に設定しないでください。バックアップから設定を復元すると、サイトの管理が自動的に有効になります。

- MSO で構成したすべてのリモート ユーザーが Nexus ダッシュボードに追加されていることを確認します。

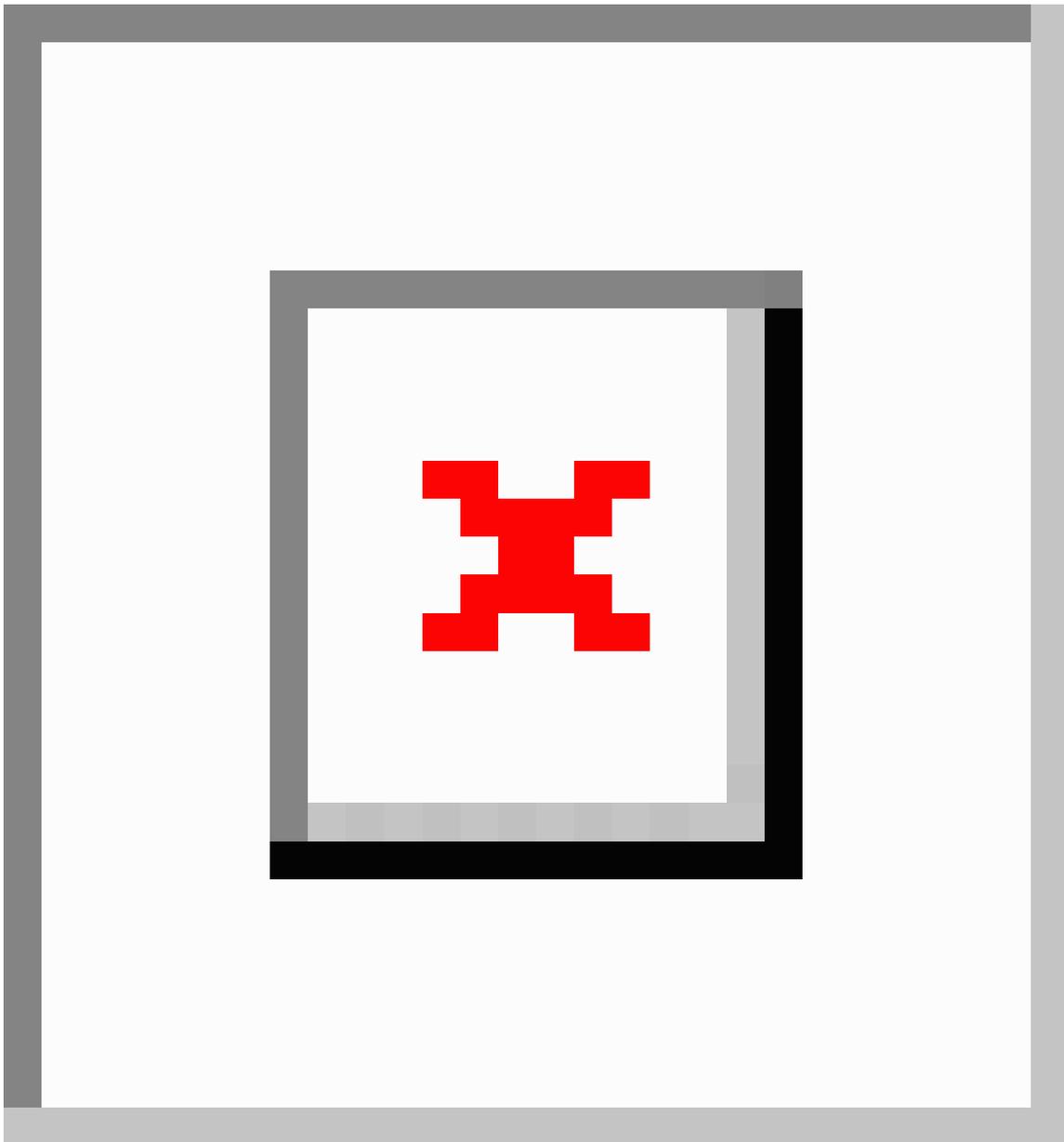
ユーザー管理は、MSO UI から Nexus ダッシュボードの共通ユーザー管理に移動されました。そのため、[Cisco Nexus Dashboard User Guide](#) の説明に従って、同じリモートユーザーと認証サーバーを Nexus ダッシュボードに追加する必要があります。

管理者が以前に MSO で直接設定したローカルユーザーは、既存の設定バックアップをインポートすると、Nexus ダッシュボードに自動的に追加されます。

既存のクラスタ設定のバックアップ

この項では、既存のクラスタの設定をバックアップする方法について説明します。

ステップ 1 既存の展開設定をバックアップします。



- a) 既存の Multi-Site Orchestrator にログインします。
- b) 左側のナビゲーション ペインで、[操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backups & Restore)] を選択します。
- c) メイン ウィンドウ ペインで、[新規バックアップ (New Backup)] をクリックします。
[新規バックアップ (New Backup)] ウィンドウが開きます。
- d) [名前 (Name)] フィールドに、バックアップ ファイルの名前を入力します。
名前には、最大 10 文字の英数字を使用できますが、スペースまたはアンダースコア () は使用できません。

e) **[バックアップの場所 (Backup Location)]**を選択します。

バックアップファイルは、Orchestrator ノードにローカルに保存するか、またはリモートロケーションにエクスポートすることができます。リモートロケーションへのバックアップを選択した場合は、リモートロケーションがすでに MSO で構成されている必要があることに注意してください。

バックアップファイルをローカルに保存する場合は、**[ローカル (Local)]**を選択します。

それ以外で、バックアップファイルをリモートの場所に保存するには、**[リモート (Remote)]**を選択して次の情報を入力します。

- **[リモートロケーション (Remote location)]** ドロップダウンメニューから、リモートロケーションを選択します。
- **[リモートパス (Remote Path)]** では、デフォルトのターゲットディレクトリのままにするか、またはパスにサブディレクトリを追加することができます。ただし、ディレクトリはデフォルトの設定済みパスの下にある必要があり、すでにリモートサーバで作成されている必要があります。

f) **[保存 (Save)]** をクリックして、バックアップを作成します。

ステップ 2 既存のオーケストレータからバックアップファイルをコピーします。

リモートロケーションを使用してバックアップを作成した場合は、この手順をスキップできます。

メインウィンドウで、ダウンロードするバックアップの隣のアクション()アイコンをクリックし、**[ダウンロード (Download)]** を選択します。これにより、バックアップファイルがシステムにダウンロードされます。

新しいクラスタを展開して構成を復元する

ここでは、以前の設定を復元するために使用する、新しい Nexus ダッシュボード クラスタと MSO アプリケーションを展開して設定する方法について説明します。

ステップ 1 既存の Multi-Site Orchestrator クラスタを接続解除します。

新しいクラスタが展開され、構成が復元されるまで、既存の MSO クラスタを保持することをお勧めします。

ステップ 2 新しい Nexus ダッシュボード クラスタが稼働中であり、MSO アプリケーションがインストールされていることを確認します。

MSO アプリケーションは、新規インストールで、サイトまたはポリシーの設定を変更していないものであることが必要です。

ステップ 3 Nexus Dashboard の GUI にログインします。

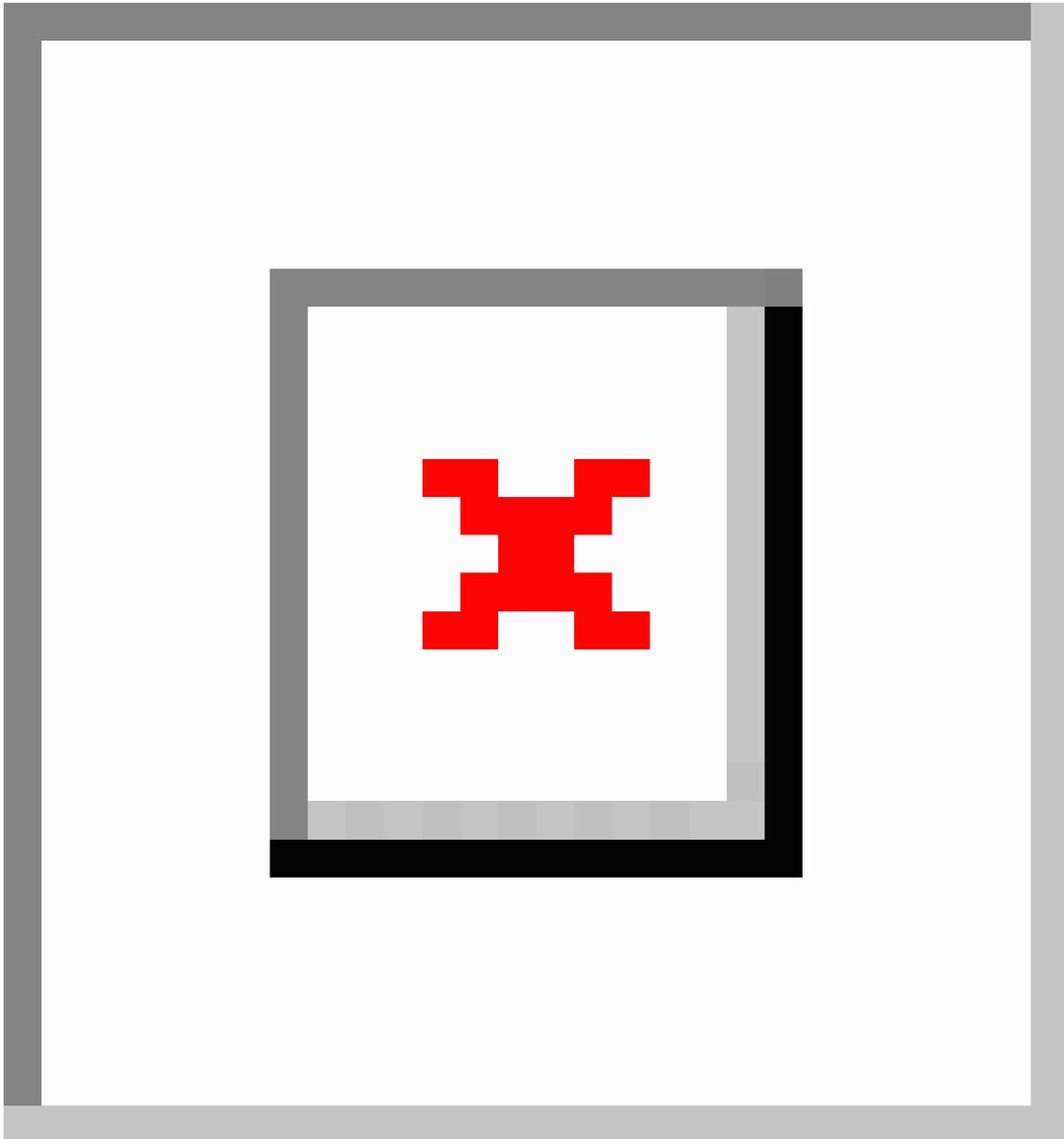
ステップ 4 すべてのサイトが Nexus ダッシュボードにオンボードされていることを確認します。

新しいクラスタを展開して構成を復元する

バックアップを復元すると、MSOは、バックアップ内のすべてのサイトが、一致するサイト名とタイプで Nexus ダッシュボードに存在することを検証します。検証が失敗した場合、たとえば、Nexus Dashboardでサイトがオンボードされていない場合、設定の復元は失敗します。再試行の前にサイトをオンボードする必要があります。オンボーディングサイトについては、[サイトの追加と削除](#)を参照してください。

ステップ 5 新しい Nexus Dashboardに展開されたオーケストレータ クラスタにバックアップ ファイルをインポートします。

バックアップをローカルに保存した場合は、ファイルをインポートするだけです：



a) 新しいマルチサイト オーケストレータ アプリケーションを開きます。

- b) 左側のナビゲーション ペインで、[操作 (Operations)] > [バックアップと復元 (Backups & Restore)] を選択します。
- c) メイン ウィンドウで、[インポート (Import)] をクリックします。
- d) 開いた [ファイルからのインポート (Import from file)] ウィンドウで、[ファイルを選択 (Select File)] を選択して、インポートするバックアップ ファイルを選択します。

バックアップのインポートは、[バックアップ (Backups)] ページに表示されたバックアップのリストにそれを追加します。

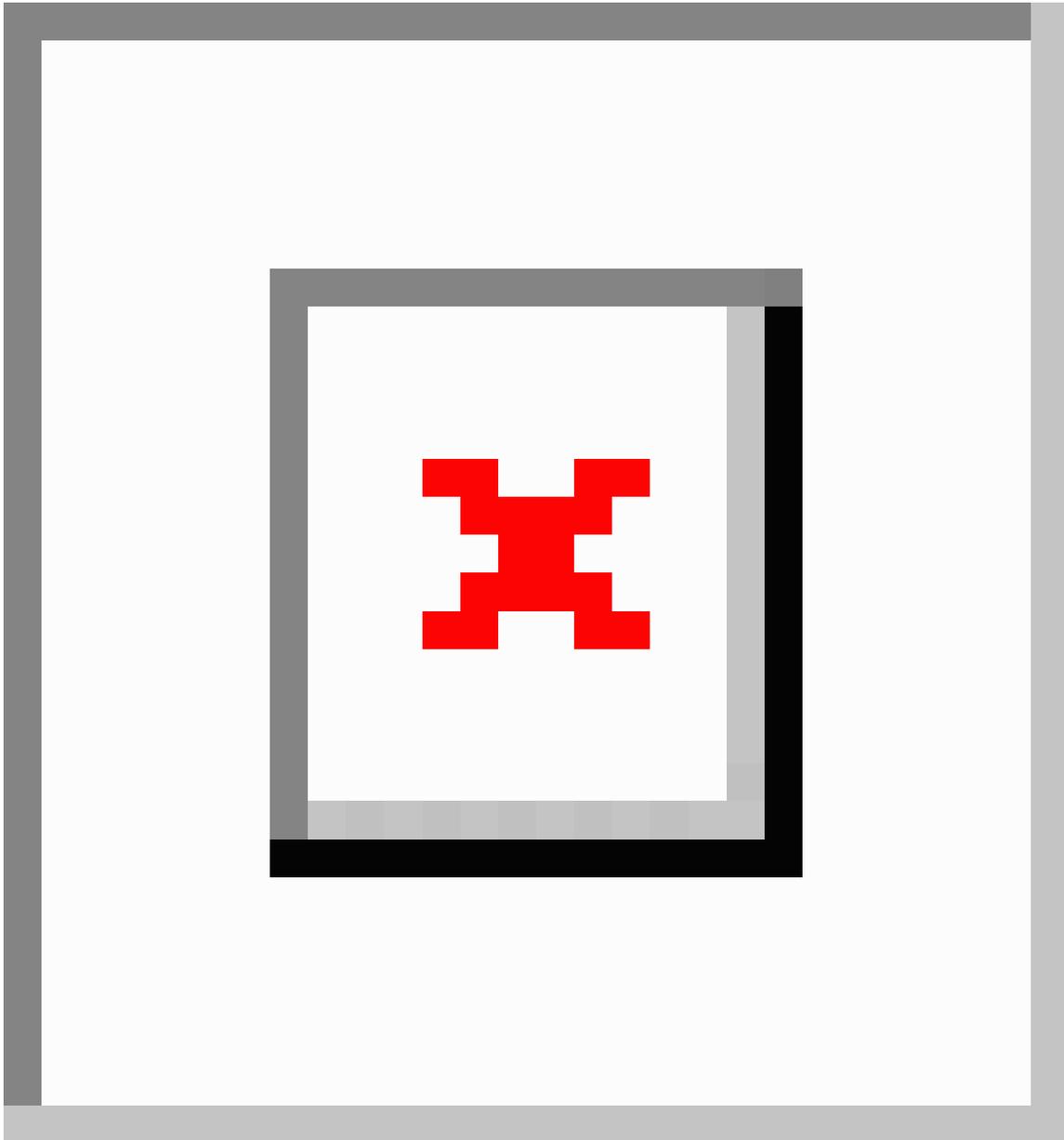
バックアップをリモートの場所に保存した場合は、そのリモートの場所を新しいマルチサイトオーケストレータに追加します。

- a) 新しいマルチサイトオーケストレータ アプリケーションを開きます。
- b) 左側のナビゲーション ペインで、[管理 (Admin)] > [リモート ロケーション (Remote Locations)] を選択します。
- c) メイン ウィンドウの右上隅で、[リモート ロケーションの追加 (Add Remote Location)] をクリックします。

[新規リモート ロケーションの追加 (Add New Remote Location)] 画面が表示されます。

- d) 古いオーケストレータで使用したのと同じ情報をリモート ロケーションに提供します。
- e) [保存 (Save)] を使用して、リモート サーバを追加します。

ステップ 6 設定を復元します。



- a) 左のナビゲーションメニューから[管理者 (Admin)] > [バックアップ (Backups)] を選択します。
- b) メイン ウィンドウで、復元するバックアップの隣のアクション () アイコンをクリックし、[このバックアップにロールバック (Rollback to this backup)] を選択します。
- c) [はい (Yes)] をクリックして、選択したバックアップを復元することを確認します。

設定が復元されると、以前 MSO で管理され、Nexus ダッシュボードにオンボードされていたサイトの、GUIでのMSO管理が有効になります。設定のバックアップにNexus ダッシュボードにオンボードされていないサイトが含まれている場合、バックアップの復元は Pre-restore check failed エラーで失敗します。欠落しているサイトをオンボードした後に手順を繰り返す必要があります。

設定をインポートして復元すると、いくつかのサービスが再起動されます。

■ 新しいクラスタを展開して構成を復元する

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。